

- 出品資格：五段以上。●用紙サイズは半切縦か角半。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

明けましておめでとうございます。今月より三カ月担当させて頂きます。今頃は、墨聚展の作品の仕上げに入っている頃でしょうか。水明展に負けない力作を期待しています。

最近、藤原定家自筆の古今和歌集の注釈書「顕注密勘」が、「冷泉家時雨亭文庫」から発見されたという記事を見ました。写本では分からない定家の思考を知る貴重な史料だそうです。

現在、大シルクロード展も京都文化博物館で開催されています。仏教經典の写本や壁画・遺宝の世界遺産、このような悠久のロマンに浸りながら感性を磨くのもいいですね！

かな部 次号課題

A 青丹よし寧楽の京師は咲く花の

薫心が如く今盛りなり (小野老)

(青丹によし) 奈良の京は咲く花の色香もあざやかなように今や盛代の極みである。

B ともしびを見れば風あり夜の雪

(大島蓼太)

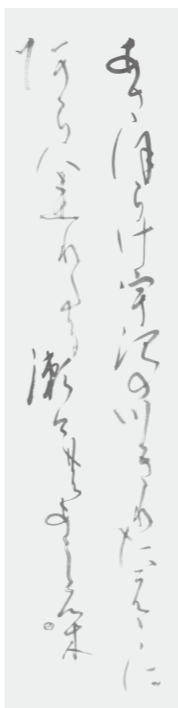
夜に入つて外は雪がしんとふり積っている。すべてのものは静まりかえっているが、灯のゆれるのをみると風があるようだ。

優秀作品

〈師範・準師範の部〉

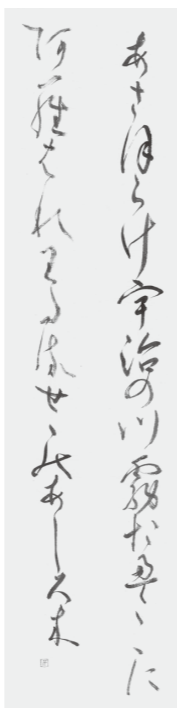


小西竹恵 大小の変化があり流れもきれいだ。

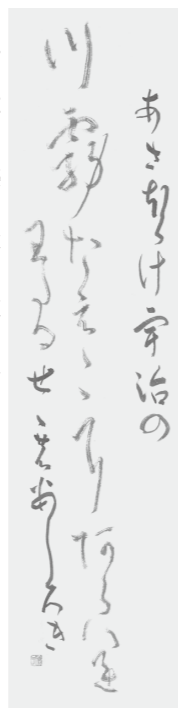


生田雨麗 流れの変化を心得ている秀作。

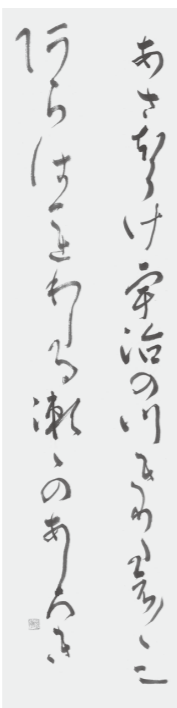
〈助教以下の部〉



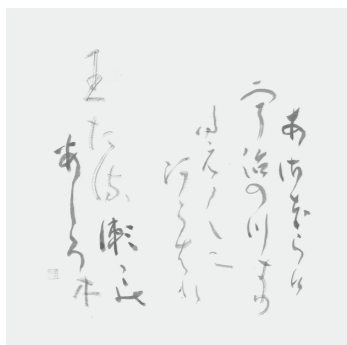
野間千秋 穏やかで丁寧な書いている。



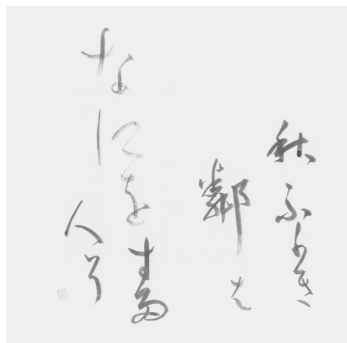
有馬雅子 紙面を大きく使い三行をうまく納めている。



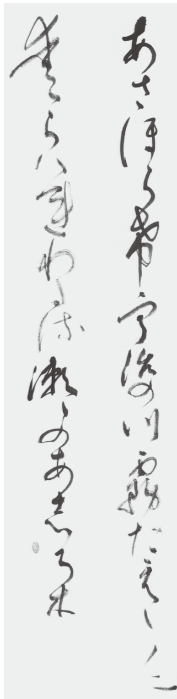
福井亜季 自然な流れで好感。出だしの墨量に気をつけて。



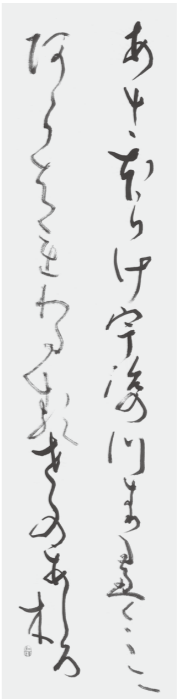
増田瞳子 達者な書きぶりで秀作。



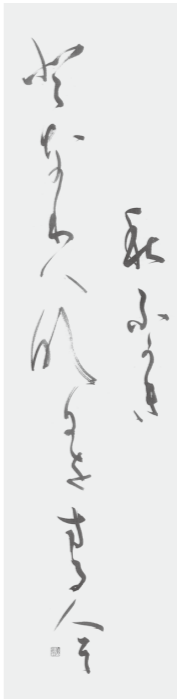
近松志津子 大胆さに敬服。「る」の字、一考。



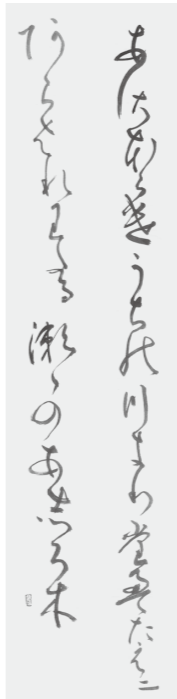
田村玲邨 無理のない書きぶりで流れよし。



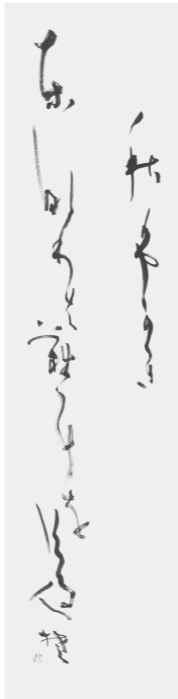
谷野紅璋 大らかに気持ちよく書けている。



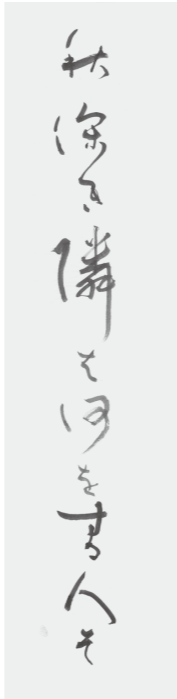
庄司美峰 効果的な流れでダイナミック。



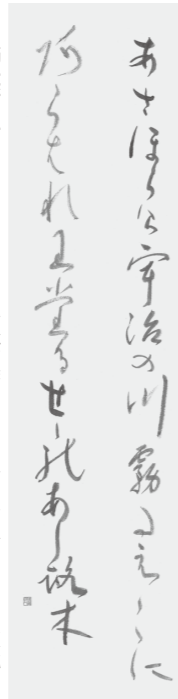
前田啓齋 連綿を効果的に使い安定感がある。



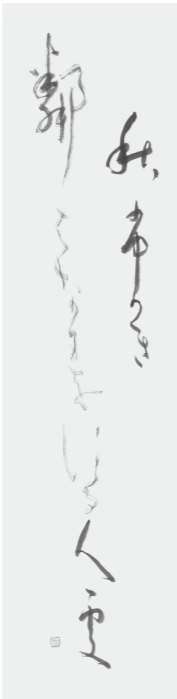
冬廣柴貴 縦長の字形で多行数を上手くまとめた。



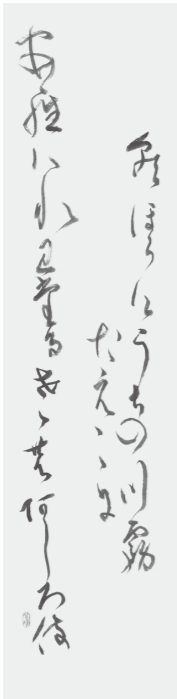
島澤眞智子 大胆に一行をまとめている。



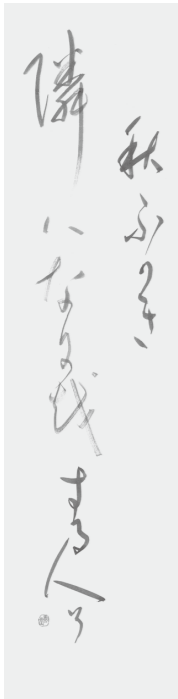
橋佳緒里 ゆつたりとした流れが美しい。二行目前半にもっと変化を。



中居大輔 渴筆が美しいが、後半かすれすぎかな。



吉村花耀 三行をうまくまとめているが、少し渴筆もほしい。



曾根影堂 ダイナミックに仕上げた秀作。